



日本代表の試合を固唾を呑んで見守る観衆 大きな声で支持を出すスキップの目黒選手とスイープをする寺田選手(左)山浦選手(右) 顔に国旗のペイントをして応援する地元の小学生 真剣な眼差しでストーンを投げる寺田選手(右)左は本橋選手 作戦の指示を出す目黒選手。後方はカナダのシュレーダー選手(左)スコット選手(右) 試合後固い表情でインタビューを受ける日本代表チーム



ストーンを投げる目黒選手(中央)左は寺田選手、右は山浦選手 ストーンを投げる寺田選手(中央)左は本橋選手、右は山浦選手



試合会場に笑顔で入場する日本代表「チーム青森」の選手の皆さん

## 2007年世界女子カーリング選手権大会

# 寺田桜子さん・目黒萌絵さん 世界に挑む

目黒萌絵さん・寺田桜子さんが日本代表として出場した、2007年世界女子カーリング選手権大会が3月17日から青森市で開催され、上位進出を目指して世界の強豪国に挑みました。

### 町民テレビ応援を開催

3月17日に行われた初戦の対ドイツ戦では、寺田・目黒両選手と日本代表チームへ大きな声援を送ろうと、「町民テレビ応援会」が情報プラザを会場として行われました。

会場には、大型スクリーンが設置され、集まった約50名の町民の皆さんが、ストーンの行方に一喜一憂しながら、熱い声援を送りました。

寺田選手は最初にストーンを投げる「リード」として出場し、目黒選手は最後にストーンを投げる「スキップ」として出場しました。

試合は、序盤から相手に先行される展開となりましたが、後半に入り各選手が

正確なショットを決め、7対5で見事逆転勝利しました。勝利の瞬間会場内には大きな拍手と大歓声が響き渡り、「この調子で次も頑張ってください」とエールを送っていました。



日本の勝利に手をたたいて健闘を称える町民の皆さん

### 現地取材レポート

カーリングの世界選手権はアジアで初めての開催ということもあり、3月19日からの3試合を応援を兼ねて現地取材を行いました。

日本代表が試合会場に入る前には、寺田さん目黒に直接会って一言二言声をかけると、笑顔で「頑張りませう」という元気な声が返ってきました。

会場の青森県営スケート場には、4つのレーンとそのレーンを囲む形で観客席が設置され、各試合には多くの市民らが駆けつけ、日本代表や各国のプレーに声援を送っていました。

観戦した試合では、日本の対戦国が「カナダ」「デンマーク」「スウェーデン」といづれも強豪国であったため、すばらしいショットが随所に決まり、世界トップレベルのプレーに驚きの連続でした。

日本チームは、ミスが目立ち、相手に得点を与える場面が多く、終始厳しい表情でプレーしていました。

地元開催でのプレッシャーを相当感じていたように見受けられました。

残念ながら、観戦した3試合はいずれも日本が勝利を手にすることができなかったため、試合後のインタビューでも笑顔はなく、記者からの厳しい質問に涙する選手もいて、厳しい現実を感ぜられました。

この大会には、多くの市民の皆さんがボランティアとして受付や会場案内などに携わり、大会の運営を支えている姿も目につきました。また、青森市内の小中学校では、大会参加国を応援する一校一国運動として、手作りの小旗を振ったり、横断幕を掲げ、選手の皆さんに熱い声援を送って大会を盛り上げていました。

日本は予選リーグ全11試合を4勝7敗で8位という結果に終わりましたが、この悔しさをバネにして、次の目標を目指して頑張ってくださいと思います。これからも寺田選手・目黒選手に町民皆さんで熱い声援を送りましょう。